

「ニコデモの来訪」

今回のニコデモとの対談の中に、ヨハネ3章16節のみことばがある。

主イエスの弟子のヨハネは、他の福音書には無い「ニコデモとの対談」を福音書に加えた。弟子のヨハネは、その一部始終を側にいて見聞きしながら、ニコデモとの話の中で、主イエスが教えて下さった、「新しく生まれるなら、神の国に入れる」こと、「永遠のいのち」について、どうしても伝えなければならないと思ったのである。

神の国の王である父なる神は、私たちを愛し、罪により滅びるのではなく、神の国・天国に入り、救われるようにして下さった。その方法は、ご自分の御子を全人類の罪を背負った「荒野の青銅の蛇」として十字架に架け、呪うという方法である。そして、十字架の御子主イエスをキリスト(救い主)であると「信じる」ことにより、ご聖霊は「新しく生まれ」させることができる。私たちは神の国で、永遠のいのちを頂き生きることができるのである。

この時、この話を聞いたニコデモは、何の事なのか、さっぱり解らなかった。しかし、彼はその後3年間、ずっと主イエスから目を離さなかった。そして十字架上の主イエスのむごたらしい姿の実景を見たとき、主イエスと「荒野の青銅の蛇」が合致したのではないだろうか。

彼は主イエスの葬りに力の限り協力しながら、この方こそ永遠の滅びから私たちを救って下さるキリスト(救い主)であると解った。ニコデモの胸中はどうだったのだろうか。

主イエスは私たちをも招いて下さっている。光に近づき、光に与りなさいと…。私たちの罪が光に映し出されて、悪いものが分かっても逃げないで、そのまま光の主、イエス・キリストの下に来るなら、十字架の救いが与えられ、新しく生まれさせていただけるのである。

[聖書の学び]

I、主イエスとニコデモ

(ヨハネ3:1～13)

1、主イエスに対するニコデモの本当の質問は何でしょうか。

①ニコデモは主イエスを誰だと思っていたのでしょうか。(ヨハネ3:2)

②神の国に入るためにはどうしたらよいのでしょうか。(ヨハネ3:3)

2、神の国に入るためには、何によって生まれなければならないのでしょうか。(3:5)

3、肉によって生まれた者と、霊によって生まれた者の違いは何でしょうか。(3:6)

- ①肉----アダムの子孫として、肉体だけでなく罪を受け継いだ人間として生まれた者。
- ②霊----罪が赦され、聖霊により聖^{きよ}められて、生まれたばかりの者のように罪のない者とされ、神に受け入れられる者。(3:8)

4、なぜ、主イエスはこの事を知っておられるのでしょうか。(3:11~13)

Ⅱ、主イエスが成される罪の赦し (ヨハネ3:14~21)

1、民数記21:7~9(旧約278) の荒野の蛇の事件について見ましょう。

- ①神様に反逆する民に、「燃える火の蛇」が噛みつき、噛まれた者は死んでしまった。
- ②神様はモーセに、燃える火の蛇 そっくりの赤い蛇 を青銅で造り、それを旗竿に架けるように命じた。
- ③「噛まれた者はみな、それを仰ぎ見たら生きる」(民数記21:8)と言われて、信じて見た者は癒やされた。

2、主イエスはこの「燃える火の蛇 そっくりの青銅の赤い蛇」と同じように木に架けられるのは、誰だと言われていますか。(ヨハネ3:14)

3、蛇とはアダム以来、生き物の中で最も神に呪われたものです。主イエスは十字架の上でどのようになられたのでしょうか。

Ⅲ、罪の赦しをいただく条件 (ヨハネ3:16~21)

1、この呪われたような十字架を仰いで、信じるなら罪が赦される。(ヨハネ3:16)

2、光である御子に聞くこと (ヨハネ3:21)

3、光である主イエスの中に留まり続ける (ヨハネ8:12)

* **ディスカッション** (心を開いて話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。